

令和8年1月15日

広島におけるオーバーツーリズム対策を強化します！

【第4弾】「踏切・線路付近での危険行為」の防止を呼びかけます！

令和7年1月～11月の訪日外国人旅行者数は3,900万人を突破し、過去最多を更新しています。訪日外国人旅行の好調により各地がにぎわう中、問題となっているのが観光地におけるマナー違反・混雑等によるオーバーツーリズムです。広島市においても、令和6年の訪日外国人旅行者数が過去最多を記録する一方で、バスや路面電車等の公共交通機関の利用に際し、訪日外国人旅行者をはじめとする観光客のマナー違反行為について住民から声が寄せられています。オーバーツーリズムを抑制し、住民の理解を得ながら持続可能な観光地域を形成していくことは、観光立国の推進に向けた喫緊の課題です。

こういった課題に対応するため中国運輸局では、観光庁が作成した「観光ピクトグラム」等を活用して、**広島を訪れる観光客に対して、公共交通機関の利用方法に関する情報提供、マナーの啓発及び乗り場での案内表示の設置により、利用者の行動変容を実証する事業を第1～4弾に分けて実施しております。**これらの取組により、国内外の観光客のマナー改善及び混雑の緩和につなげることを目指しております。

実証事業（第4弾）の概要

【実施内容】中国運輸局では、観光客が電車等の写真撮影を目的に線路内に立ち入ったり、踏切警報機が鳴っているにもかかわらず踏切内に進入するなどの危険行為の防止を啓発するリーフレットを制作しました。本リーフレットは、観光客に対し「**踏切や線路付近での危険行為の防止**」を呼びかけるとともに、「**踏切内に閉じ込められた際の対処方法**」についても周知するものとなっており、電車との接触事故を未然に防ぎ、安全に旅行をしてもらうことを目的としています。このリーフレットを観光客が集中する広島駅において配布します。

【実施日】令和8年1月21日（水）10:00～11:00

【配布場所】広島駅北口ペDESTリアンデッキ2階（エキキタテラス）



【協力】西日本旅客鉄道株式会社、広島電鉄株式会社



配布するリーフレット

～プレス先～

広島：合同庁舎記者クラブ、経済記者クラブ、県政記者クラブ

★現在実施中の取組★

【第1弾】

原爆ドーム・平和記念公園のバス停に、利用者の整列を促す「徒列ライン」を敷設。また、割込禁止を呼びかける「観光ピクトグラム」を掲示。

実施期間：令和7年11月5日～



敷設された徒列ライン



割込禁止を呼びかける観光ピクトグラム

【第2弾】

踏切付近での危険行為（警報中の進入等）の防止を啓発するポスターを鉄道施設にて掲示。

実施期間：令和7年12月初旬～



【第3弾】

「広島観光を楽しむための公共交通ガイド」を観光案内所や宿泊施設にて配布。

実施期間：令和7年12月19日～



【外国人観光客アンケート】第1～4弾の取組で使用した「観光ピクトグラム」の認知度や理解度を調査する目的で、外国人観光客に対しアンケート調査を実施予定です。

実施日：令和8年1月20、21日

【問合せ先】※現地取材希望者は別紙「報道関係者登録用紙」をメールでお送りください。

実証事業第2弾及び第4弾に関すること

中国運輸局鉄道部安全指導課【中山（なかやま）・中谷（なかたに）】

TEL：082-228-8799 E-mail：nakayama-m59qq@mlit.go.jp / nakatani-m5974@mlit.go.jp

実証事業第1弾、第3弾及び「外国人観光客アンケート」に関すること

中国運輸局観光部国際観光課【音谷（おとだに）・石川（いしかわ）】

TEL：082-228-8702 E-mail：cgt-kokusai_kanko_section@gxb.mlit.go.jp